

2020年9月29日

筑波大学附属病院 脳卒中科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】2015年1月1日～2022年3月31日の間に、急性期脳主幹動脈閉塞で入院し、頭部MRIまたはCT灌流画像を受けられた方

【研究課題名】迅速脳灌流画像解析ソフトウェアRAPIDを用いた急性期脳主幹動脈閉塞の梗塞巣体積と灌流状態の評価～単施設前向き観察研究～

【研究代表者】筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座 松丸 祐司

【目的】全自動灌流画像解析ソフトウェアRAPIDにより得られる画像所見（梗塞巣体積、脳血流低下域体積、脳血流低下域と脳梗塞領域の体積の差や比）を、従来の頭部画像検査所見や臨床症状（重症度）から予測する手法を確立することを目的としています。

【利用するカルテ情報・資料】

診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、画像検査、治療経過

【試料・情報の第三者への提供について】

カルテ情報・資料は筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座で解析されます。院外に情報・資料を送付することはありません。

【研究期間】院内研究倫理審査委員会承認日より2022年6月30日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は当院においては研究終了後10年間保存いたします。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年6月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

筑波大学附属病院 脳卒中科/筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座

担当医師：松丸 祐司、早川 幹人
電話：029 (853) 3220 (脳神経外科)